

大学コンソーシアム熊本 第1期中期計画に係る令和5年度実施状況及び評価並びに第1期中期計画評価

課題	課題を解決する取組概要	令和5（2023）年度				達成目標 【2023年度終了時の達成目標】	中期計画（5か年）の達成度評価（案）		参考（過去4か年）				
		活動指標	実績	部会評価	評価理由		企画・運営委員会評価	評価	評価理由	元年度	2年度	3年度	4年度
1. 高等教育機関の教育・研究の充実のための基盤整備													
県内進学者の増加と県外からの進学者の導入 (課題アイウエ)	(取組1) 進学ガイダンスセミナー事業 コンソーシアム加盟教育機関による模擬授業の開講と、各大学入試担当者による進学相談コーナーの開設による高校生の進学に対する疑問や質問を解消する取組を実施する。保護者・高校教員向け講演会も実施し、多面的な進学支援を行う。	(取組1の活動指標) 模擬授業数28講座 進学ガイダンスセミナー参加者数1,200人	東海大学で実施(7/9) 模擬授業 24講座開設 進学相談コーナー 13機関 参加者 約310名	B	模擬授業数は24講座開設しており、ほぼ、指標を達成しているが、参加者数が、310/1200で、指標を大幅に下回っているが、会場校である東海大の協力のもと、加盟13機関の模擬授業と進学相談に加え、進学塾による講演を開催したため、B評価とした。	B	県内進学率50%以上 県外からの進学者2,500人以上	B	R5.3時点において、 ・県内高校からの大学進学者のうち県内大学への進学率 59.2% ・県内高校卒業者のうち大学への進学率 49.0% ・県外からの進学者数 2,423人 であり、達成目標に達していないため	B	C	B	B
2. 地域の行政や産業界と連携													
産学官連携の機会の増加 (課題カキクケ)	(取組1) インターンシップ連携事業 次代を担う熊本県内の高等教育機関の学生が、熊本県内の企業や団体等の職場において就業体験を実施することにより、地域経済や企業活動への理解を深め、就職意識の醸成・向上することを目的として実習プログラムの内容はオリエンテーションや経営陣との懇談、配属部署内での職種体験、実習の講評や実習生の発表を行う。	(取組1の活動指標) 受け入れ先企業・団体 夏季 120社 春季 70社 派遣実習生数 夏季 250人 春季 50人	夏季 8/11~9/19 受入受諾事業所数 64社 (346人) 受入企業等数 47社 派遣実習生数 159名 春季 2/10~3/8(予定) 受入受諾事業所数 33社 (207人) 受入事業所数 26社 参加学生数 85人 ・インターンシップwebシステムを新たに構築	B	夏季は受入企業・団体数、実習生数とも指標を下回ったが、春季は参加学生数は指標を上回っているため、B評価とした。		産学官連携に基づく取組の活性化 取組み件数4件	C	インターンシップ事業はB評価であるが、インターンシップ以外の産学官連携事業ができていないため	B	C	B	B
	(取組2) キャンパスバレー 熊本県生涯学習推進センターが主催する、一般市民向け開講の、くまもと県民カレッジリレー講座「キャンパスバレー」において、加盟機関から教員を派遣している。所属機関の特色を出し、一般市民の興味を持つテーマの講座を開講する。	(取組2の活動指標) 受講希望者数580人	開催期間 8/1~8/31 13機関から14講座開催 受講者 322名	B	今年度は、1講座あたり30人程度との制限があり受講生が少ないが、1講座あたりの平均充足率は80%弱であったため、B評価とした。		キャンパスバレーの講座数50%以上増	C	講座数については、原則1機関1講座となっており、講座数が増加している訳ではないため (H30:13講座)	S	C	A	B
	(取組3) 教育のあり方に関する協議 加盟教育機関と熊本県・熊本市などの自治体とで、熊本県の教育政策とコンソーシアムの事業との整合性や共同の取組について協議する。地域に必要な人材像や地域の課題について認識を共有する。	(取組3の活動指標) 協議の実施回数3回	3回実施予定(11/14、1/19、3月開催予定)だったが1月が中止となった。 第1回は熊本市、第2回は熊本市教委(予定)から講演	B	3回計画していたが、諸事情により実施予定が2回しか開催できなかったため、B評価とした。		教育のあり方に関する協議の実施 年度内に3回実施	A	5年度は当初3回の開催を計画しており、諸事情により開催できなかったものであり、毎年度3回の開催は常態化したものと考えられるため	C	D	A	A

課題	課題を解決する取組概要	令和5（2023）年度				達成目標 【2023年度終了時の達成目標】	中期計画（5か年）の達成度評価（案）		参考（過去4か年）				
		活動指標	実績	部会評価	評価理由		企画・運営委員会評価	評価	評価理由	元年度	2年度	3年度	4年度
	【地域創造部会・新規事業】		地域課題解決のための企画事業 【令和3年度】 「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」の開催 熊本県、熊本市からの課題に対し、それぞれ12件の応募があり、11月13日に発表会、審査会を実施。	S	活動指標にない事業なのでS評価とした。	B	教育機関の連携事業5件以上	A	(1案) 中期計画終了時点で通算して5件以上の取組みを行っているため	/	/	S	S
		地域課題解決のための企画事業 【令和4年度】 「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」の開催 熊本県、熊本市からの課題に、県5件、市17件の応募があり、11月19日に発表会、審査会を実施。	S	同上	/					/	S	S	
		地域課題解決のための企画事業 【令和5年度】 「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」の開催 熊本県、熊本市からの課題に、県9件、市15件の応募があり、県9件、市8件が一次審査通過。11/18に発表会・審査会を実施。	S	同上	/					/	S	S	
		熊本を深く知るための企画事業 講演会（オンライン）の実施 【令和3年度】 「熊本市中心市街地がランドマークイ2050」 参加者数 45名	S	同上	/					/	S	S	
		熊本を深く知るための企画事業 シンポジウム（オンライン）の実施 【令和3年度】 「グローバル社会と熊本の双方から考えるSDGs」参加者数 168名	S	同上	/					/	S	S	
		熊本を深く知るための企画事業 講演会（オンライン）の実施（10/6） 【令和4年度】 「熊本フェアトレードの現在とローカル・フェアトレードへの展望」参加者数43名 動画視聴 270回	S	同上	/					/	S	S	
		熊本を深く知るための企画事業 講演会の実施【令和5年度】 1. 11/11 「島原大変肥後迷惑」（肥後の里山ギャラリー） 参加者数 30名	S	同上	/					/	S	S	
		熊本を深く知るための企画事業 講演会の実施【令和5年度】 2. 12/12 「くまモン学」（尚綱大学・オンライン併用） 参加者数 108名	S	同上	/					/	S	S	
	【理事会・新規事業】		講演会の開催【令和4年度】 11/10に熊本大学を会場に「熊本地域における大学の役割と将来」の演題で3学長（会長、2副会長）が、リレー形式で講演を行った。講演者を含め47名参加（有料参加33名）	S	同上				/	/	S	S	
	【企画運営委員会・新規事業】		単位互換の検討【令和4年度】 令和3年度設置した「単位互換検討WG」において、2大学（熊本大学、九州ルーテル学院大学）による試行を令和5年度後から開始した。	S	同上				/	/	S	S	

課題	課題を解決する取組概要	令和5（2023）年度				達成目標 【2023年度終了時の達成目標】	中期計画（5か年）の達成度評価（案）		参考（過去4か年）				
		活動指標	実績	部会評価	評価理由		企画・運営委員会評価	評価	評価理由	元年度	2年度	3年度	4年度
3. 地域社会の教育・文化の向上・発展													
国際交流の活性化 (課題オ)	(取組1) ワンストップ窓口業務 留学生の相談受付、ワークショップの開催、国際交流振興事業団主催の留学生と話そうサロンへの在学留学生の講師派遣など、熊本県内における留学生情報や事業活用の拠点として活動する。	(取組1の活動指標) ワークショップ開催件数 6件	○留学生ショートムービーコンテスト 作品提出 5チーム（個人含む） 表彰式&交流会 1/20（中止） ○コラボカフェ 5件 ○留学生のためのワークショップ ・楽しい書道 6/17 留学生 15人 日本人学生 1人 ・スタディツアーin 阿蘇 11/11 留学生36人 日本人学生 6名 ・留学生のための就職準備講座 12/9 留学生 5人参加 ・スタディツアーin 水俣 12/16 留学生39人 日本人学生 3名 ・スタディツアーin 八代 3/1（予定） ・ウェルカムパーティー 6/10 留学生 44人 日本人学生 50人 教職員・その他 19人	S	ワークショップを含め12件の事業、イベントを開催したため、S評価とした。	B	留学生の受け入れ態勢強化・留学生数増加に向けた誘致戦略の検討 留学生受け入れ数 1,000人	B	R5.5.1現在の留学生数が784人に留まっているため	B	D	A	A
	(取組2) SNS等を活用した留学生ネットワークの構築 熊本への留学を希望する学生を増やすことを目的に、留学生同士のネットワークを利用し、熊本の大学の魅力を伝える情報発信を行う。在学留学生に対しては、熊本への愛着を深めることを目的とし、生活やイベント情報を効果的に発信し地域への活動への参加を促す。	(取組2の活動指標) アクセス数24,000件 コミュニティ参加者数 650人	アクセス数 12,056件 (X:67件、Facebook:7,586件、Instagram:4,403件) コミュニティ参加者数 605名 「留学生コミュニティ」サイトについては、セキュリティに不安がある可能性があるため、新たな登録を中止している。代わりに各種SNS、オンラインフォーム等を利用。	B	アクセス数は目標には達していないが、昨年度よりも増加しており、Xのほか、FacebookやInstagramを開始したこともあり、B評価とした。					S	B	B	B
	(取組3) 留学生のための“学モン都市クマモト”ツアー 九州地区の日本語学校等で勉強している外国人留学生に対し、熊本の大学を見学してもらい熊本で学ぶことの良さを知ってもらう。事業の周知及び情報収集を目的として、九州内の日本語学校を訪問し、県内大学への留学生の誘致活動を行う。	(取組3の活動指標) 参加者数100人 日本語学校の訪問数14校	10/19 オンライン開催を予定していたが、応募者が少なく開催中止→個別相談を実施 留学生2名参加（日本語学校1校） 日本語学校へは、郵送・メール・電話により案内 103校 県外96校 県内7校（リーフレット同封） ・福岡留学生向け進学相談会 相談者数 留学生25名 日本語学校教員21名	B	日本語学校を対象学生が少ないため、ツアーは中止としたが、中国地方の日本語学校へ誘致活動を行ったため、B評価とした。					A	B	B	B
	(取組4) 多言語による情報発信 HPの英語・中国語・韓国語に翻訳して掲載しているが、加盟機関のHPとリンクさせ、各機関の情報を海外に向けて発信できる体制を構築、継続する。 日本語・英語・中国語併記のリーフレットを作成し、各機関の協定校や海外オフィスでの配布を依頼し、福岡地区を中心に九州の日本語学校にも配布する。	(取組4の活動指標) リーフレットの配布先45件	コンソのホームページの新着記事などを随時更新した。各事業ごとのページの整理を行い、利便性を向上させた。進学希望の留学生向けのホームページを更新し、留学生体験談や大学情報を掲載した。  リーフレットは 103校へ発送〔再掲〕 デジタルリーフレットもメールやSNSへの掲載を行い、活用した。	S	活動指標の倍以上にあたる103校へ送付したため、S評価とした。					B	A	A	A
	(取組5) 環境整備活動 「きれいな熊本にする」をスローガンに地域や加盟機関・諸団体との連携を図りながら、環境整備活動を実施する。	(取組5の活動指標) 学生・留学生・教職員の参加 200人	R4年度同様12/2に熊本城二の丸公園広場清掃を実施 学生・教職員の参加 55名	B	人数制限をして実施したため、B評価とした。					A	D	B	B
	(取組6) 地域行事・イベントへの参加事業 加盟機関に在籍する留学生及びその家族並びに日本人学生・教職員が、地域で開催される行事やイベントに参加することを通じて、留学生及びその家族が地域や日本人学生・教職員との交流を深め、日本の伝統や文化を理解する一助とする。	(取組6の活動指標) 参加者数80人	8/5 火の国まつり「おてもやん総おどり」 留学生 25人 日本人学生 10人 教職員 12人 【後援】 人吉・球磨の焼酎蔵めぐり（熊本国税局） 留学生 28人	A	「おてもやん総踊り」に25名、人吉の焼酎蔵めぐりに28人の留学生が参加したのに加え、取組1の日本（熊本）の文化や伝統に触れるスタディツアーに80名が参加したことを加味しA評価とした。					B	D	評価せず	A

課題	課題を解決する取組概要	令和5（2023）年度				達成目標 【2023年度終了時の達成目標】	中期計画（5か年）の達成度評価（案）		参考（過去4か年）						
		活動指標	実績	部会評価	評価理由		企画・運営委員会評価	評価	評価理由	元年度	2年度	3年度	4年度		
4. 教育環境の向上															
地域における高等教育の環境を向上させるための包括的な取組み（課題コ）	（取組1）FD・SD 加盟機関の教職員の資質向上を目的として、現在のところ主にSDを実施している。外部講師による管理職研修、中堅職員研修、中堅職員フォローアップ研修のほか、業務種別ごとに関係する担当者の情報交換の場を作り連携促進も図っている。	（取組1の活動指標） 実施件数5件	5件実施 ・新採職員研修 8/30～31 20名（崇城大学） ・中堅職員研修 9/8 15名（熊本学園大学） ・中堅職員フォローアップ研修 9/7 14名（熊本学園大学） ・交流会（人事労務管理） 7/5 24名（熊本保健科学大学） ・交流会（教務） 10/18 21名（熊本県立技術短期大学校）	A	活動指標の5件が実施済であるため、A評価とした。	B	熊本の高等教育機関教職員の資質向上に関する取組みの実施 開催件数8件 参加者数150人	A	（取組1）と（取組2）を合わせれば、件数、参加者数とも単年度で目標を達成するため	A	B	S	A		
	（取組2）障がい学生支援連携事業 障がいのある学生への教育サポートの充実を図るため、また、実務担当者が定期的に情報交換や勉強会を実施し連携を強めていくことで、担当者間の一層の連携強化を図る。講習会や講演会など実施し加盟機関の実務担当者のスキルアップを図る。	（取組2の活動指標） 実施件数3件	3件実施 協議会 7/25 16名 12/11 20名 意見交換会 12/11 20名 講演会 3/7 21名	A	活動指標と同数の活動を行ったため、A評価とした。					A	B	A	A		
	（取組3）男女共同参画推進連携事業 男女共同参画、ワークライフバランスの啓発等に資する事業を企画・実施する。また、加盟機関の教職員だけでなく学生の参加も考慮した介護と仕事の両立、人権啓発、ダイバーシティの推進に資する事業等にも取り組む。	（取組3の活動指標） 実施件数3件	2件実施 委員会 5/16, 1/23 勉強会（育児休暇） 9/7 22名（オンライン） 教職員	B	活動指標の3回実施予定が2回しか開催できなかったため、B評価とした。					C	達成目標数が単年度の参加者数とした場合、毎年度委員及び関係者を中心に事業を行っており、目標数には達していないこと。	A	B	B	A
	（取組4）教員免許更新講習 ・当該年度の教員免許状更新講習の実施 ・翌年度の教員免許状更新講習の開設準備 ・「教員免許状更新講習管理システム」の共同運用 ・「受講料収納代行」（コンビニでの収納）の共同運用	（取組4の活動指標） 実施件数200件	法改正により開催なし							—	—	A	B	B	評価せず
	（取組5）学生交流推進事業 各機関から選ばれた学生で構成する学生企画委員会を設置し、学生自身が様々な企画を立案・実施している。学生の交流の場や新規事業の企画・提案の場としての合宿研修を企画している。	（取組5の活動指標） 実施件数3件	3件計画3件実施（計画を含む） ①体育大会 10/9 学生36名 ②農業体験 3/28実施予定 ③企画委員交流イベント 3/11 学生38名	A	活動指標と同数の活動を行う予定のため、A評価とした。					C	達成目標数が単年度の参加者数とした場合、毎年度学生企画委員会を中心に事業を行っており、目標数には達していないこと。	A	A	A	A